

報道関係者及び教育関係者 各位

2016年5月17日

英国での支援活動:ジェームズ ダイソン財団、
ケンブリッジ大学に世界最先端レベルの開発研究棟を開設



一般財団法人

ジェームズ ダイソン財団

〒102-0082

東京都千代田区一番町8

James Dyson Foundation

8 Ichibancho

Chiyoda-ku

Tokyo 102-0082

JAPAN

ダイソンが次世代のエンジニア育成を目的に設立したジェームズ ダイソン財団(以下、JDF)は、2016年5月9日に、英国ケンブリッジ大学の最も優秀な工学研究者たちに世界最先端レベルの開発研究棟を開設しました。この開発研究棟は、発明やプロトタイプを試作品製作など、最先端の研究を共同で進める場と手段を提供します。当財団が同大学工学部へ2014年に寄付した800万ポンド(約14.4億円*)の建設資金は、長きにわたりヨーロッパで最も成功を収めているケンブリッジ大学工学部への寄付金としては史上最高額になります。*1ポンド180円で計算、以下同じ。

ダイソン エンジニアリング デザインセンター(Dyson Center for Engineering Design) は、ケンブリッジ大学の学生を対象とした、特殊印刷機器、スキャナー、レーザー、ルーター関連の設計プロセスの指導拠点です。同センターでは、1,200名を超える優秀なエンジニアがプロジェクトに従事できる十分なスペースを確保し、仕切りのないオープンプラン設計は、アイデアの共有ならびにコラボレーション環境を促進します。この研究所内で行われる学生主導のプロジェクトには、太陽光発電の電気レーシングカー、極地用の氷上走行車両、クアッドロータードローン、ヘリウム気球による宇宙飛行システムなどが予定されています。

別棟の新しい4階建てジェームズ ダイソン エンジニアリング ビル(James Dyson Building for Engineering) は、大学院生の研究者用に建てられた、先端材料、スマートインフラ、電気自動車、高効率内燃機関といった分野での世界最先端の研究をサポートします。世界最高クラスの流体力学装置、空気力学装置、空力音響解析のためのエリア等を備えた各種試験室とは連絡通路でつながっており、行き来することができます。

このビル建築では、研究に従事する人たちに劣らずスマートな機能が採用されています。基礎杭に組み込まれた光ファイバーセンサーは、温度から建物の歪みまで多様な項目についてライブデータを収集し、建物の状況把握を可能にします。言わばこのビルは、ただの建物ではなく、生き物のような建造物なのです。

ケンブリッジ大学工学部は、欧州最大の技術クラスターであるケンブリッジ・クラスターの中心に位置しています。ケンブリッジ・クラスターでは、1,500を超える技術関連企業で約57,000人が働いており、その年間収入の合計は130億ポンド(約2.3兆円)以上にのぼります。ケンブリッジからは、過去10年間で1,500社以上のスピンアウト企業が生まれており、その5年存続率は、全国平均の44.6%を大きく上回る97.4%となっています。

ジェームズ ダイソンは次のように述べています。

「英国が、世界的技術競争を勝ち抜くための知的財産を開発できるかどうかは、英国有数の人材を野心的で心躍るような研究プロジェクトに投入できるかどうかにかかっています。ケンブリッジ大学が誇る英国の優秀なエンジニア達可以利用できるスペースが新たに誕生したことで、私たちの生活をより良く変える技術的躍進と進化が大幅に加速することを期待しています。」

ケンブリッジ大学副総長のレシエク・ポリシェウィッツ卿は次のように述べています。

「このビルでは、卓越した最先端のエンジニアリングに基づく研究が行われます。ダイソン・センター内で生まれる新たなアイデアと高度なエンジニアリングとが結びつくことで、世界を変える発見や発明が実現するだけでなく、21世紀の重要な課題を解決する世界が求める次世代のエンジニアが誕生するのです。」

ケンブリッジ大学工学部長のデービッド・カードウェル氏は次のように話します。

「エンジニアリングに関わる世界的な課題を解決する上で、コラボレーションは不可欠です。そしてこのジェームズ ダイソン・エンジニアリングビルでは、各分野の優れた研究者と産業界の実務家が協力し、最新技術を駆使して都市やその交通システムあるいはエネルギーシステムに関わるソリューションを開発しています。」

「隣接するダイソン エンジニアリング デザインセンターには、最先端の機械加工用ならびにプロトタイプング用の多彩な機器が揃っており、学生はクリエイティブな才能を発揮し、自らのエンジニアリングスキルを試すことができます。また同センターでは、エンジニアの仕事を小中高生に見学してもらう機会を設けており、次世代の有能なエンジニアを生み出すセンターとしても機能する予定です。再設計により充実する予定のエンジニアリング ライブラリは、学生や研究者にとって共同作業や個人的な作業スペースとしても活用できる、フレキシブルな環境となります。」

—以上—

編集者への注記:

英国ケンブリッジ大学

常に世界の大学トップ5に数え上げられるケンブリッジ大学は、1209年創立の世界で3番目に古い大学です。ノーベル賞受賞者92人を輩出したほか、卒業生にはアイザック・ニュートン卿、チャールズ・ダーウィン、アーネスト・ラザフォード、アラン・チューリング、フランク・ホイットルなどがいます。これまで、DNA構造の発見や体外受精技術の開発などで社会に貢献しています。

ケンブリッジ大学工学部はヨーロッパ最大の総合的な工学部で、工学分野の学術研究で世界をリードしています。計算流体力学、電気工学、力学、材料、設計の分野での研究が世界的に知られています。

ジェームズ ダイソン財団(JDF)

2002年に設立されたこの慈善団体は、英国内の設計、テクノロジー、エンジニアリングの教育活動を支援するほか、アメリカと日本の財団を通じて海外でも支援を行っています。当財団は、インペリアル・カレッジ・ロンドン(Imperial College of London)に1,200万ポンド(約22億円)を寄付し、

一般財団法人

ジェームズ ダイソン財団

〒102-0082

東京都千代田区一番町8

James Dyson Foundation

8 Ichibancho

Chiyoda-ku

Tokyo 102-0082

JAPAN



James Dyson Foundation

ダイソン・スクール・オブ・デザイン・エンジニアリングを開校するなど、本日までに、5,500万ポンド(約99億円)を様々な事前目的に寄付してきました。当財団は、ケンブリッジ大学やインペリアル・カレッジ・ロンドンだけでなく、ボーンマス大学、ブルーネル大学、ラフバラー大学、ブリストル大学、英国王立芸術大学院(Royal College of Art)、パース大学においても工学系の学生に対して奨学金を支給しています。当財団は、ダイソンのエンジニアと共に、学校および大学でデザイン・ワークショップを開催し、教育教材の無料貸し出しを行っています。ダイソンテクノロジーがどのように設計されるかを考えることをしています。

一般財団法人

ジェームズ ダイソン財団

〒102-0082

東京都千代田区一番町8

James Dyson Foundation

8 Ichibancho

Chiyoda-ku

Tokyo 102-0082

JAPAN

ジェームズ ダイソン財団(JDF)とケンブリッジ大学

今回の800万ポンド(約14億円)の寄付金に加え、アレック ダイソン奨学と称して、大学院生向けの奨学金として毎年25,000ポンド(約450万円)をケンブリッジ大学工学部より卒業した学生に支給しています。2016年よりメアリー・ダイソン奨学と称し、女子大学ムーレイ・エドワーズ・カレッジに所属する4名の成績優秀な工学系学生に対して2,500ポンド(約45万円)を支給しています。

ジェームズ ダイソン アワード

ジェームズ ダイソン アワードとは、当財団が世界22か国にて運営している、国際エンジニアリングアワードです。課題はシンプルで、問題解決となるアイデアを考えることです。国際最優秀賞の受賞者には、30,000ポンド(約540万円)が支給され、アイデアをさらに開発する費用に充ててもらいます。過去の受賞は、プリント基板(PCB)を3Dプリントする器械、発展途上国における折り畳み式保育器、漁業の乱獲問題に対処するために開発した幼魚が逃げ出せるためのリングなどが挙げられます。

Higher Education Funding Council for England (HEFCE)

当財団による支援活動により、施設向けに265万ポンド(約4.8億円)相当もの寄付金をHEFCEより受けることができました。これらは、エンジニアリング ライブラリーの改設費やダイソン・エンジニアリング・デザイン・センターからジェームズダイソンビルへ渡る連絡通路の製作費に充てられます。

<本件に関するお問い合わせ>

一般財団法人 ジェームズ ダイソン財団ジャパン 近藤・高瀬

Tel: 03-3238-8985

Email: JamesDysonFoundationJapan@dyson.com

HP:www.jamesdysonfoundation.jp

dyson

James Dyson Foundation